

スーダングラスの栽培利用技術

福島県畜産試験場 草地飼料部
平成13年度試験成績概要

1 部門名

飼料作物－飼料作物－品種・収穫・乾燥・調整・畜産粗飼料・サイレージ
分類コード08-02-01244252

2 担当者

大槻健治・武藤健司・関里織・伊藤純一

3 要旨

近年の温暖化傾向により寒地型牧草主体の永年草地の衰退が問題となっている。このため、夏作として生育期間が極めて短いスーダングラスを栽培し、ロールバールサイレージ調製技術を活用したイタリアンライグラスとの年2作体系を確立する。

- (1) イタリアンライグラスとスーダングラスの年2作体系; イタリアンライグラス(タチワセ)刈取り後にスーダングラス(KCS-202)を栽培し、イタリアンライグラスの刈取り回数が年間収量に及ぼす影響を検討したところ、イタリアンライグラス2回刈り後にスーダングラスを栽培することで合計乾物収量は1500kg/10a程度を確保できた(スーダングラスの播種は6月下旬、刈取りは出穂期)。
- (2) スーダングラス品種の特性; KSC-202(早生)、HS-K1(早生)およびPC3079(極晩生)の3品種を比較した結果、収量はPC3079>KCS-202>HS-K1の順で多かった。
- (3) スーダングラスサイレージ調製技術; スーダングラスはモアコンディショナー、ロールベラーおよびラッピングマシンの体系により収穫・調製できるが、刈取り及び集草作業は作業機の詰まりを防ぐため、通常よりも作業速度を下げて行う必要があった。
- (4) スーダングラスサイレージの品質; スーダングラスはサイレージにすることで硝酸態窒素は減少した。また、スーダングラスサイレージはイタリアンサイレージと比較してCP含量は多いが、TDN、VBN/TN比および嗜好性は劣っていた。

4 その他の資料等

- (1) 日本飼料作物種子協会.1999.牧草・飼料作物の品種解説:131-147
- (2) 佐竹康明ら.1997.ソルガムラップサイレージの調製適性の解明.愛媛畜試研報15:21-23
- (3) 園田裕司ら.1996.ラップサイレージ調製技術の検討.長崎畜試研報5:81-82
- (4) 土谷いずみら.1999.ロールベラーサイレージ体系における夏作スーダングラスによる周年作付け技術.石川畜総セ研報33:39-42